

世界をリードするスタートアップ拠点都市 の形成と経済好循環の駆動 ～東京大学の取組み～

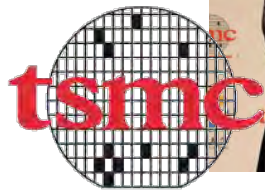
2020.7.16



東京大学総長 五神 真

Society5.0の実現には 世界で活躍するスタートアップ育成が不可欠

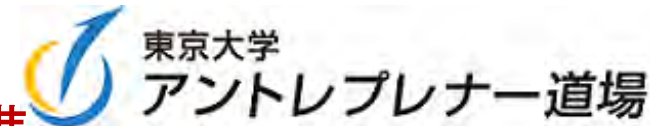
- ✓ 20年以上の取組でベンチャー育成のエコシステムが形成されつつある。**今こそが飛躍のチャンス。**
- ✓ **東大と連携する大企業**もベンチャーに注目。
(例)ダイキン工業と東大関連ベンチャー・WASSHAの連携
- ✓ 世界を見据えた起業家教育、グローバル企業や海外VCとの連携、制度改革等により、**世界をリードする国際拠点のモデルを実現**すべき。



世界を視野に入れた起業家教育の展開

➤アントレプレナー道場

- 2005年以来、**4000名以上が受講**、**100名以上が起業**。
- 今学期は、オンラインで開講。
- 道場の知見は、広く公開予定。



➤アントレプレナーシップ・サマー・ブートキャンプ

- **学部1・2年生向け**の夏季短期集中プログラム
- **バブソン大学**（全米で起業家教育ランキング第1位）の教授を招聘した少人数の実践的教育
- IBMによるサポート

社会的な起業を通じて、
社会課題解決に貢献したい若者は増えている。

世界と肩を並べるスタートアップ・エコシステム

➤ 東京大学TLOの設立(1998)以来、



四半世紀にわたる積み重ねの実績

- 東大エッジキャピタル(2004)、東大IPC(2016)
 - インキュベーション施設でのハード・ソフト支援
- ## ➤ 東大関連スタートアップが集積する“本郷バレー”
- 関連ベンチャー**401社**(うち、17社がIPO)
 - **時価総額**はトップ5社合計で**約1兆円**
 - 本郷キャンパス周辺に約100社集積
 - **ブランド戦略**“uTIE(ユータイ)”による学内外インキュベーション機能の普及



世界に肩を並べるところまでは実現。
日本がリードするためには「次の一手」が必要。

世界をリードするスタートアップ戦略

- 日本が強みを持つ分野で国際的に活躍するベンチャー創出
 - 物性物理・化学など、日本が強い研究分野において海外VC等による「目利き」により事業化を狙うことで、
日本の研究の強みをベンチャーにつなげる
- より高いステージに押し上げるための上場基準の見直し
 - NASDAQ等比べて上場基準が低い**マザーズ、JASDAQ**など市場構造の見直しを促し、「小さくまとまる」ことを防ぎ**世界市場での地位向上**を図る
- 大学を最大限活用するための規制緩和
 - 大学の自由裁量拡大のため、**大学債の使途に関する国立大学法人法改正、自治体の建築規制緩和**が必要

スタートアップ支援でも大学を最大活用。
2025大阪・関西万博で成果を示す。

参 考 資 料

大企業と東大関連ベンチャーの連携

ダイキン工業 × WASSHA(ワッシャ)

- ダイキン工業と東京大学は「空気の価値化」をテーマに「10年100億円規模」の産学協創協定を締結(2018年)。東大発ベンチャーを共同で育成。
- WASSHAは蓄電池と太陽光パネルによる「ソーラー・ランタン」と既存のキヨスク店舗、モバイルマネーを組み合わせ、電力の量り売りサービスを展開。タンザニアなどの無電化地帯で1000か所・150万人に電力を供給。
- ダイキン工業がWASSHAに着目し、同社のスタートアップ協業事業第1号として3億円を出資。**両社が協業し、タンザニアで「エアコンのサブスクリプション」という新たなビジネスモデルを展開。**



ダイキン工業の高機能エアコンとサービス網構築力



2020年6月16日
ダイキン工業株式会社
WASSHA 株式会社

空調未成熟市場でエアコンのサブスクを事業とする合弁会社を設立
空調メーカーのダイキンとタンザニアで電力サービス事業を展開する WASSHA が協業



SDGsにも貢献 7

起業家教育から起業支援、 ソフトからハードまで切れ目のないプログラムを提供

起業家教育の例

- アントレプレナー道場  東京大学 アントレプレナー道場
 - 2005年以来、4000名以上が受講し、100名以上が起業。
- アントレプレナーシップ・サマー・ブートキャンプ
 - 1・2年生向けの夏季短期集中プログラム



起業支援等の例

- 東京大学TLO(技術移転機関)、東京大学エッジキャピタル(UTEC)  
- 東京大学協創プラットフォーム開発(UTokyo IPC) 
 - 2016年設立。産業競争力強化法による官民ファンド
- インキュベーション施設の増強
 - 2007年にアントレプレナープラザを開設。
 - 2018年以降、さらに整備を進めて全学で1ha規模に
- ブランドシンボル uTIE(ユータイ)の活用 
 - オフキャンパス含めたスタートアップエコシステムのブランド戦略。

起業家教育から、技術移転、インキュベーション、投資まで
包括的な支援システムを整備

入学の段階から世界を見据えた起業家教育

- **新入生向け**の「アントレプレナーシップ・セミナー」
 - 第一線の研究者、東大関連ベンチャー企業の経営者が講演
 - 4/18からオンラインで開催、**200名弱が受講**
 - **学生の反応はポジティブ**。年内に計5回開催予定
 - 東大におけるこれまでのアントレプレナーシップ教育の成果を踏まえた新しい取組

- **1・2年生向け**の「アントレプレナーシップ・サマー・ブートキャンプ」
 - 夏季短期集中プログラム(**正規科目**として設定)
 - 選抜された30名強の学生が受講
 - **日本IBMと連携**。コンテンツ面・運営面で支援を受ける。
(セッションの設置、東大卒若手社員によるメンタリング等)
 - **バブソン大学**(全米で起業家教育ランキング1位)の**教授を招聘し、グローバルな視点からの起業家教育を実施**

世界と肩を並べるスタートアップ・エコシステム

■東京大学エッジキャピタル(UTEC)

(東京大学関連ベンチャーキャピタル。2004年設立。)

- 累積で約543億円の4本のファンドを運営
- 約100社に投資、うち11社が株式上場、11社がM&A(合併・吸収)等の有意義なExit

■東京大学TLO

(東京大学関連技術移転機関。1998年設立。)

- 累積で92.4億円のライセンス収入
- 累積で4,772件の契約を締結

✓ 東京大学関連ベンチャー企業数：約401社 (うち、IPOした企業：17社)

✓ 上場5社の時価総額合計 約1兆円 (2020年7月現在)

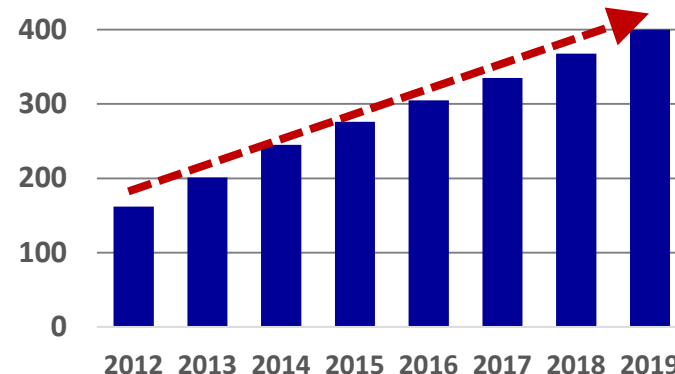
国際的にも高レベルの実績とポテンシャル

東大関連ベンチャーの時価総額トップ5

企業名	上場市場	時価総額(億円)
ペプチドリーム	東証一部	5,873
ミクシィ	東証一部	1,728
PKSHA Technology	マザーズ	870
ユーグレナ	東証一部	699
リプロセル	JASDAQ	298
5社計		9,468

2020年7月現在

関連ベンチャーの累計起業数



スタートアップが集積する“本郷バレー”の形成

- 本郷キャンパス内外に、スタートアップやスタートアップ向けの施設が集積

With コロナ/After コロナ時代においても、エコシステム発展にはプレイヤー(起業家、投資家、アクセラレーター等支援者、大学)の効果的な“出会いの場”は必須



東京から、世界で活躍できるスタートアップを育成する。
スタートアップのグローバル拠点都市となり、世界の主要都市
(NY、ロンドン、パリ、北京、上海等)に打ち勝つエコシステム形成を目指す。 11

大学が日本の産業界と海外企業を橋渡しする

半導体戦略
(2019.11)



量子技術
戦略
(2019.12)

d.lab
(工)システムデザイン研究センター
最先端の学理と技術を
利用可能な設計拠点



UTokyo Quantum Initiative

海外トップ拠点
大学、企業、
ベンチャー...

国内
研究機関

国研

● 半導体関連

デバイス設計：A社

露光・加工装置：B社

⋮

● 半導体応用

自動車：D社

医療：E社

⋮

産業界

● 量子応用

化学：F社

金融：G社

⋮

● ハード基盤技術

制御エレクトロニクス：H社

マイクロ波・フォトニクス：I社

⋮

スタートアップ支援でもゲートウェイを活用
2025大阪・関西万博で成果を示す

スタートアップ拠点都市化に求められる規制緩和

大学を活用するには容積率・高さ規制等、自治体の建築規制の緩和が必要

例① キャンパス全体の容積率規制



←浅野キャンパス東端部
未利用地
約250坪@文京区
(容積率規制により開発困難)

画像©2019 Digital Earth Technology, DigitalGlobe, The Geoinformation Group 地図データ©2019 Google

例② 地方自治体の高さ規制



←本郷キャンパス理学部1号館
東側(住宅地側)に向かって低くなる

第3期棟(一番奥)は建設時に当初計画を変更し
高さを低減(文京区の**高さ規制の導入**による)

文科省・国交省連名通知(平成30年3月7日
「大学保有資産の有効活用等の推進について」)
だけでは弱い